



7 議 委 第 7 7 号
令和 7 年 1 2 月 1 0 日

南会津町議会議長 山 内 政 様

議員定数と議員報酬に関する特別委員会
委員長 渡 部 訓 正

議員定数と議員報酬に関する特別委員会中間報告

令和 7 年第 2 回南会津町議会定例会において設置されました当特別委員会は、下記のとおり中間報告します。

記

議員定数と議員報酬に関する特別委員会（以下「特別委員会」という。）は、令和 7 年 6 月定例会で設置され、これまで 8 回の会議を開催し調査研究を行ってきました。

議員の定数と報酬は、南会津町議会基本条例第 16 条で「行財政改革の視点だけでなく、町政の現状と課題、将来の予測と展望を十分に考慮する」、また「改正理由の説明を付して議員が提案するものとする」と規定されており、議員自ら議論していくことが義務付けられています。

このことから、特別委員会では次の改選の 1 年前（令和 8 年 4 月）を目途に報告、公表することとし、以下の項目について調査研究を行いましたので報告します。

< 委員 >

委員長 渡部 訓正 副委員長 渡部 裕太

委 員 楠 正次、森 秀一、酒井 幸司、湯田 剛正、星 和孝

< 調査日 >

令和 7 年 6 月 20 日、7 月 31 日、8 月 26 日、9 月 11 日、9 月 16 日、10 月 23 日、
11 月 13 日、11 月 27 日

< 調査内容 >

1. 議員定数について

◆現行の議員定数（16 名）について

令和元年 5 月から議員定数を 16 名としましたが、令和元年 5 月以降も人口減少は著しく、これに対応した議員定数のあり方を考える必要があります。「議員は人口 1,000 人に

1人」という指標もあり、これを参考にしつつ、当町における議会の役割を果たすために必要な議員定数を考えていきます。

◆議論の中心となった意見

- ① 人口に合わせた議員定数という考え方は重要ですが、「議会機能を果たすために必要な議員定数」という視点から考えることも重要です。
- ② 定数を16名から削減するのであれば、現状の3常任委員会を維持することは困難であることから、委員会数も3から2へ減らすべきであると考えます。
- ③ 令和7年10月20日に開催された町村議会議員研修会において、講師の大正大学江藤俊昭教授は、「全国的な議員定数削減の流れで定数を削減した場合、それが住民のためになるのかを考えなければならない」と述べています。全国的な流れでの削減を考えるのではなく、議会力の向上を目的とした定数のあり方を検討します。定数を減らし過ぎた場合、組織の弱体化が懸念されることから、慎重な議論が必要です。
- ④ 1町3村の合併により、886.47㎢という広大な面積を有する当町は、旧町村単位で生活圏や文化的特色にも違いがあります。議員定数を考える上で面積の広さは重要な視点の一つと考えますが、道路の整備が進んでおり、情報伝達手段も進歩しています。これまでも議員定数は、合併時から1つの選挙区として町で一本化して取り扱ってきたことから、今回もこの考え方を継続していくこととします。

2. 議員報酬について

◆現状の把握

議員報酬は、生活給ではないとの見方もありますが、地方議会議員という職の現状の議員報酬を考えた場合、昨今の社会情勢を踏まえても選択されない立ち位置になっています。

つまり、現状を変えないという事は、若者が立候補できない状況を作り出していると言えます。

◆住民の理解

「議会は住民自治の根幹であり、住民の理解なしに考えることはできない」という江藤俊昭教授の言葉からも明らかなように、住民の理解なしに議員定数と議員報酬を見直すことはできないと考えています。

住民からは立候補者の多様性を求める声が多く聞かれます。特に若い世代に寄せられる期待は大きいものがあります。今後の地方自治体の行く末を考えると、若年世代が立候補できるための環境を整えることが今の議会の使命でもあります。

これまでの流れを鑑みても、議員報酬を増額することはハードルが高いと思われますが、特別委員会では「議員の仕事量を増やして住民の理解を得られれば報酬は上げられ

る」という意見も出されました。

過去の特別委員会では、町民アンケートや住民説明会等を実施し、住民の意見を調査してきました。今回も住民の意見を聞く機会を設ける必要があると考えています。

住民の意見を踏まえて協議をした上で、最終的な委員会の考えとして提示していきたいと思います。

3. その他

◆政務活動費について

議員アンケートの結果では、必要と不要が半数に分かれました。町村議会実態調査（令和6年7月1日現在）によると、政務活動費を交付している町村議会は、22.4%であり、徐々にではありますが増加してきています。議員報酬額との兼ね合いもあることから、今後も調査研究を進めていく必要があるのではないかと考えています。

<今後の方針>

以上のとおり、特別委員会では議員定数と議員報酬に関し調査研究を行ってきました。

定数については、近隣自治体の状況等も参考にしながら、人口減少や面積から適切な定数のあり方を検討しました。9月18日～10月3日の日程で実施した議員アンケートでは、16名中10名が定数の削減を行うべきであると回答しています。このことから、定数を削減する方向で今後さらに議論を深めていきます。

また、報酬については、16名中12名が増額すべきであると回答していることから、報酬増額へ向けた検討を行っていきます。

今後は、3月定例会での最終報告に向け、議員アンケートの結果や住民の声を踏まえた議員間討議を行い、具体的な議員定数と報酬額を導いていきたいと思います。

議員定数と議員報酬に関する特別委員会の経過

(中間報告まで)

回数	開催日	主な協議・検討内容
第1回	令和7年6月20日(金)	正副委員長の互選
第2回	令和7年7月31日(木)	今後の進め方について 委員間の意見交換
第3回	令和7年8月26日(火)	議員定数に関するアンケートについて ・町民アンケートは実施しない ・議員アンケートは無記名で実施する ・議員アンケートの内容の確認 ・議員アンケートを9月定例会会期中に配布する 議員報酬に係る議員活動調査について ・議員活動量調査に基づく報酬額の算出は実施しない
第4回	令和7年9月11日(木)	議員アンケートについて ・アンケート内容の確認 ・回収期限の確認 議員報酬について ・政務活動費との関係を検討
	令和7年9月16日(火)	3常任委員会合同情報交換において議員アンケートについて説明し、各議員へ依頼 ・修正意見が出され、内容を再検討することとした
第5回	令和7年9月16日(火)	3常任委員会合同情報交換終了後、アンケート内容について再検討 ・意見を基に修正する ・会期中の9月18日にアンケートを配布し、回収期限を閉会後の10月3日とする
第6回	令和7年10月23日(木)	議員アンケートの結果について ・アンケート結果を確認し、委員間の意見交換 議員定数の見直し方針について ・委員間の意見交換 議員報酬の見直し方針について ・委員間の意見交換
第7回	令和7年11月13日(木)	議員定数の見直し方針について ・定数は減らす方針とし、具体的な人数は引き続き検討する 議員報酬の見直し方針について ・報酬は増額する方針とし、具体的な金額は引き続き検討する 中間報告について ・12月定例会で中間報告することとし、報告書の案は正副委員長で作成し、次回委員会で内容を協議する

回数	開催日	主な協議・検討内容
第8回	令和7年11月27日（木）	<p>中間報告書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案の内容確認 ・添付資料の確認 <p>町民との意見交換会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4地域ごとに開催する ・1月下旬に開催する
町 民 説明会	令和8年1月20日（火）	田島地域（御蔵入交流館 多目的ホール）午後6時～
	令和8年1月21日（水）	舘岩地域（舘岩会館2階 第1・2会議室）午後6時～
	令和8年1月22日（木）	伊南地域（伊南会館3階 大集会室）午後6時～
	令和8年1月23日（金）	南郷地域（南郷総合センター3階・大会議室） 午後6時～
	令和8年1月24日（土）	町内全域（伊南会館3階 大集会室）午前10時～ 町内全域（御蔵入交流館 多目的ホール）午後3時～